

介護保険料(第1号)の在り方に関する アンケート調査結果報告書

MRI 株式会社 三菱総合研究所

目次

I. 調査概要	1
II. 調査結果（単純集計）	3
1 治体（保険者）の状況について	4
2 現在の介護保険料の賦課方式について	9
3 介護保険料の賦課方式の見直しについて	14
4 賦課方式を見直すとした場合、妥当と思う見直し方法について	17
5 「定率+定額制」あるいは「定率制のみ」を採用するとした場合について	18
6 段階別定額制を拡大した（現行の第1段階～第3段階の段階区分数を増やす）場合について	25
7 介護保険料の賦課方式を見直した場合、高額介護サービス費や特定入所者介護サービス費の利用者負担段階との関係についての考え方	28
8 介護保険料の賦課方式を見直した場合、国が方針を決定してから、住民への周知や電算処理システムの改修など、必要な準備期間	29
9 介護保険料の賦課方式の変更の、介護保険事業計画の始期と合わせる必要性についての考え方	30
III. 調査結果（クロス集計）	31
i. クロス集計結果例	32
0 クロス集計の軸	32
1 治体（保険者）の状況について	33
2 現在の介護保険料の賦課方式について	35
3 介護保険料の賦課方式の見直しについて	36
4 賦課方式を見直すとした場合、妥当と思う見直し方法について	38
5 「定率+定額制」あるいは「定率制のみ」を採用するとした場合について	39
6 段階別定額制を拡大した（現行の第1段階～第3段階の段階区分数を増やす）場合について	41
ii. 項目間クロス集計	43
(1) 3 (1) の選択肢別、4 賦課方式を見直すとした場合、妥当と思う見直し方法で「定率」と「現行定額制の拡大」を選択している者の割合	43
(2) 3 (1) で「見直すべきである」を選択した保険者のうち、4 で「定率」を選択	

した保険者における5 (1)「定率+定額制」あるいは「定率制のみ」を採用するとした場合、妥当と思う賦課方式の割合	44
(3) 2 (3) で「市町村民税情報の活用はやむをえない」を選択している保険者における、4 賦課方式を見直すとした場合、妥当と思う見直し方法で「定率」と「現行定額制の拡大」を選択している者の割合	46
IV. 参考資料	48
1. 介護保険料（第1号）の在り方に関するアンケート	48
2. 第1号被保険者の介護保険料の制度創設時の考え方と問題点について	57